

令和 5 年度		3 学年		商業・普通 科		
教科名	芸術	科目名	音楽探究		2 単位	70 時間
			担当者	松井 深之		
<b>1. 学習目標</b>						
音楽に関わる諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。						
<b>2. 使用教材等</b>						
・教科書名 なし						
・副教材名 なし						
<b>3. 学習項目（学習内容）</b>						
学期	月	単元	学 習 内 容		時間数	考査
1	4	日本の歌曲と世界の歌曲	1、2年の既習曲の上に、さらに難度の高い歌曲に挑戦する。		16	実技テスト (歌唱)
	5	(ソルフェージュを加える)	歌う技術だけでなく、楽譜を読む力、正確な音程やリズムを演奏する技術を習得する。			
	6					
	7					
2	8	ミュージカルやオペラなどの舞台芸術の鑑賞	音楽と他の芸術との関連を学習し、幅広い芸術的な感性を養う。		10	筆記テスト (楽典 音楽史 など)
	9	合唱	声楽的なアンサンブルを通して、自分のパートと他のパートとの音楽的な連携を感じ深める。			
	10					
	11					
12	音楽史	主に西洋音楽史を学び、日本伝統音楽との関連を研究する。様々な名曲に触れ感性を高める。		12		
3	1	自由課題探求	各自の実技課題を決め、演習と発表を行う。それぞれの作品について研究・分析等を行い表現力を高める。		10	実技発表 (テスト)
	2					
	3					
<b>4. 評価の観点</b>						
①音楽への関心・意欲・態度		音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。				
②音楽表現の創意工夫		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている				
③音楽表現の技能		創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。				
④鑑賞の能力		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。				
<b>5. 評価の方法</b>						
・課 題： ワークシート、実技発表、作品、筆記テスト（授業内で実施、定期考査では実施しません）						
・授業態度： 授業に取り組む姿勢、出欠状況						
<b>6. 学習にあたっての注意とアドバイス</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技発表、筆記テスト、提出物、授業態度から総合的に評価します。</li> <li>・自分なりに工夫して取り組む姿勢を重視します。</li> <li>・自由課題・・・音大・保育系進学者については、入試で演奏する楽曲や、進学先の課題曲を演奏します。それ以外の方は、任意の1曲を演奏します。</li> </ul>						